

2019 年度 ちゅーりっぷキッズ自己評価

重点目標1 保育指針をもとに指導計画を立て、保育者全員が同じ方向性を持った保育を行う。

○具体的な取り組み

- ・ 月のカリキュラムを立てる前に会議をして話し合い、子どもの様子を確認しながら立てることができた。
- ・ 子どもの成長や心身の状態に保育者の関わり方が適しているか、また日々の保育の中で疑問に思ったこともその都度話し合いをし、より良い保育をしていけるよう努めた。

○改善点

- ・ 全体計画→年間指導計画→月間指導計画→日々の活動へと連動した保育を今年度以上に意識して取り組む。

重点目標2 研修で学んだことを全員で共有し、保育の質向上に努める。

○具体的な取り組み

- ・ 研修で学んだことを実践したり、園内研修の中でも共有し話し合いができたので研修が意味あるものになった。
- ・ 研修の内容を自園に置き換え、何が必要で何が出来るかを考え共有できるようにした。

重点目標3 各家庭との信頼関係を築き、気持ちに寄り添い丁寧な保護者支援に努める。

○具体的な取り組み

- ・ 家庭、育児、仕事、悩める保護者の気持ちに寄り添い少しでもらくに、そして楽しい子育てができるような声かけや対応を心がけた。
- ・ 子どもの良い面、頑張ったことなどを伝え成長したことを共感し合い、保護者がほっとするような場であるような対応に努めた。

○改善点

- ・ 保護者への声かけや伝え方が難しく保育者全員で話し合いをし相談しながら対応するよう努めたが、さらに知識をつけ安心してもらえるような対応をしていく。

重点目標4 連携園との交流保育の機会を多くもつ。

○具体的な取り組み

- ・ 感染症などが流行りなかなか連携園へ遊びに行く機会がもてなかったが、その散歩時に会った時など積極的に話しかけるようにし交流がもてた。

○改善点

- ・ 来年度は子どもが成長していくうえでも大切な異年齢との関わりももてるような交流をしていきたい。

重点目標5 環境を考慮した栽培を通し、充実した食育に取り組む。

○具体的な取り組み

- ・ 初めての水耕栽培に取り組み、ヒヤシンスの成長を子どもたちと身近で観察でき良かった。
- ・ 保育者と調理員とが連携をして、様々な食材に触れ楽しい食育に取り組むことが出来た。

○改善点

- ・ 冬時期ベランダが寂しいので、来年度は冬の時期のプランターでの花の栽培を取り入れたい。

【2020 年度 重点目標】

- 1 カリキュラムをもとに遊びが広がるような保育計画を立て、子どもの意欲や自信につなげていく。
- 2 子どもの発達過程を理解し、ひとりひとりの成長に合わせ援助していく。
- 3 保護者の気持ちに寄り添い子育ての楽しさを伝え、丁寧に支援する。
- 4 栽培や様々な食材に触れる機会を多くもち、「食べたい」「楽しい」と思える食育に取り組む。
- 5 衛生管理を徹底し感染症予防に努め、保護者にも情報を発信する。